

適 用 規 格					
定 格	使用温度範囲	-35℃～ +85℃（注1）	保存温度範囲	-10℃～ +60℃（注3）	
	使用湿度範囲△	20% ～ 80%（注2）	保存湿度範囲△	40% ～ 70%（注3）	
	電 圧	AC/DC 100V	適合コネクタ	DF19-*S-1C(**) DF19G-*S-1C(**)	
	電 流	AWG 30 : 0.9 A AWG 32 : 0.8 A	適合電線 △	AWG30～32 被覆外径：φ0.54 ～ 0.58mm	
性 能					
	項 目	試 験 方 法	規 格	QT	AT
構 造	外観、構造、仕上げ	目視、寸法測定器にて測定する。	図面と合致していること。	○	○
	表示	目視にて確認する。		○	○
電 氣 的 性 能	接触抵抗	100 mA(DC又は 1000 Hz)で測定する。	30 mΩ以下	○	—
機 械 的 性 能	単体挿抜力	T=0.2±0.005mmのゲージにて規格値を満足すること。	差込力 3.0 N以下 引抜力 0.2 N以上	○	—
	繰り返し動作	30 回の抜き差しを行う。	①接触抵抗：30 mΩ以下 ②破損、ひび、部品のゆるみがないこと。	○	—
	耐振性	周波数 10～55 Hz、片振幅 0.75 mmで 3 方向 各 10サイクル試験する。	①1μs以上の電氣的瞬断がないこと。 ②破損、ひび、部品のゆるみがないこと。	○	—
	耐衝撃性	加速度 490 m/s ² 、持続時間 11 ms、 正弦半波 3 軸両方向 各 3 回試験する。	①1μs以上の電氣的瞬断がないこと。 ②破損、ひび、部品のゆるみがないこと。	○	—
	引張り強度	芯線のみを圧着した状態で測定する。	AWG30：8N以上 AWG32：5N以上	○	—
環 境 的 性 能	定常状態の耐湿性	温度 +40 ± 2℃、湿度 90～95 %中に 96 時間放置する。 （室温に1～2時間放置後測定）	①接触抵抗：30 mΩ以下 ②破損、ひび、部品のゆるみがないこと。	○	—
	温度サイクル	温度 -55 → 85℃ 時間 30 →30分 を 5 サイクル 試験する。 槽の移し換えは時間は2～3分 （室温に1～2時間放置後測定）	①接触抵抗：30 mΩ以下 ②破損、ひび、部品のゆるみがないこと。	○	—
	塩水噴霧	濃度 5 %の塩水、48 時間放置する。△	はなはだしい腐食がないこと。	○	—
	二酸化硫黄	濃度 10 ppm、96 時間放置する。△ （試験規格：JEIDA-39）	はなはだしい腐食がないこと。	○	—
備考 （注1）通電時の温度上昇を含む。 （注2）結露のないこと。 （注3）基板搭載前の未使用品に対する長期保存状態に適用。 基板搭載後、輸送時の一時保管は使用温湿度範囲を適用。					
	△の数	訂正記事	設計	検図	年月日
△	5	DIS-H-00004853	SN. MIWA	SZ. ONO	20190514
試験規格の記載のない試験方法はIEC 60512(対応規格JIS C 5402)を適用している。			承認	KJ. KATAYOSE	20050105
			検 図	TY. OMA	20050105
			担 当	SZ. ONO	20050105
			製 図	SZ. ONO	20050105
注 QT:確認試験 AT:製品検査 ○:適用項目			図番	SLC4-164752-00	
HRS	製 品 規 格 表		製品名	DF19A-3032SCFA	
	ヒロセ電機株式会社		製品コード	CL685-0046-0-00	△ 1/1